

令和の名刀・名工展 開催要項

1. 趣旨

刀職者達は、時代環境の変遷によりその行先を見失いかけたが、人々は武器ではなく美術刀剣という在り方にその未来を見出した。日本刀は千年余の歴史があり、工芸史上重要な地位を占めるものである。そしてこの現代において、長年の伝統を継承しつつ、古の模倣や従来への踏襲に終わらない一層の技術錬磨の上に、新しい時代とともにある日本刀職方技術の姿を築き上げることが、本展覧会に課せられた使命である。

本展覧会は、公募による展覧会として厳正な基準に基づく評価を通し、作刀技術・研磨技術・外装技術の健全な発展と人材育成に寄与することを願うものである。

2. 主催 会期 会場

開催地	主催	会期	会場
東京都	(公財) 日本美術刀剣保存協会 全日本刀匠会	2022(令和4)年8月6日 ～9月4日	刀剣博物館
岡山県	(公財) 日本美術刀剣保存協会 全日本刀匠会	2022(令和4)年9月30日 ～11月27日	備前長船刀剣博物館 林原美術館

3. 出品部門

作刀・刀身彫・彫金・研磨・白鞘・刀装(拵・拵下地・鞘塗)・柄前・白銀

4. 書類申込(事前エントリー)及び作品搬入期間等

・書類申込みは、5. 応募条件を確認のうえ、必要事項を記入したハガキ、または書面(任意書式)をFAX・郵送にて、運営委員会に2022年3月24日(木)～3月31日(木)までに必着のこと(郵送の場合は当日消印有効)。申込受付後、出品申込書とえ符を申込者に送付する。なお、書類申込(事前エントリー)がない場合には、本展に出品することは出来ない。

・出品作品は、2022年5月9日(月)～5月11日(水)に搬入のこと。受付時間は10時から16時までとする。

搬入場所：〒130-0015 東京都墨田区横網1-12-9 刀剣博物館

電話 03-6284-1000

持込・輸送いずれの場合も出品作品には破損等が生じないよう梱包し、荷造表装には、「令和の名刀・名工展出品作品」と必ず記載のこと。輸送の場合は、受付期間内に到着するよう着日指定で発送のこと。

5. 応募条件

- ・作刀部門：美術刀剣類等製作承認を受けた者であること。
- ・作刀以外の部門：各部門の作品製作に携わる者であること。
- ・本展の趣旨にそうものであること。
- ・2020年1月1日以降に自己が製作・工作したものであること。
- ・公募展に未発表のものであること。
- ・出品作品は巡回する全ての会場・会期に展示可能なものであること。
- ・刀剣の出品作品には作品受付時に登録証の原本を添付すること。
- ・出品は1部門につき1点まで。
- ・作刀部門と研磨部門においては同一作品での重複出品は可能とする。

6. 審査料

審査料は10,000円とする。

審査料の納入方法は運営委員会で決定する。

7. 賞の種類

審査会により決定された作家に対し、下記の通り賞を贈る。

- ◎大賞 1名
- ◎準大賞 若干名
- ◎入賞 1～5名
- ◎入選

8. 審査委員会

前条に規定する賞の受賞者を審査決定するために、審査委員会を置く。

審査委員の互選により、審査委員長1名及び審査委員長の指名により審査副委員長1名を置く。

9. 審査委員

審査委員名は、決定次第発表する。発表時期は運営委員会で決定する。

10. 展示作品

受賞者の出品作品。審査委員会及び実行委員会の推薦する参考品。

11. 審査発表

審査日時・発表については運営委員会で決定する。

なお、個別の問い合わせについては一切応じない。

12. 付帯行事

- (1)図録の発行 (2)展示作品の解説 (3)ホームページへの掲載
- (4)特別展示 (5)その他適当な行事

13. 作品の搬出

日時・場所については実行委員会で決定する。

14. 異議の申立

受賞、展示その他について、異議を申し立てることは出来ない。

15. 作品・個人情報について

出品の際に記載された情報及び作品の画像は、展示の他、12.付帯行事並びに令和の名刀・名工展の広報・案内等に限って使用する。

16. その他

同展の開催について必要な事項は、令和の名刀・名工展規程に依り各委員会が定める。

令和の名刀・名工展運営委員会
委員長 渡邊妙子

住所 東京都墨田区横網1-12-9 (公財) 日本美術刀剣保存協会内
事務局：担当 村越・清水・橋本
TEL：03-6284-1000 FAX：03-6284-1100